

異常な行動

識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中:○、就寝 中じゃない:×)	覚醒直 後に発現	就寝の場合、 就寝時刻から発 現までの時間	回復までの 時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠覚醒症 等の既往	睡眠覚醒症 等の家族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作用 履歴	異常な行動に関 する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたよと云っているのか?)	旧資料No		
261	B05024386	58	年	男性	①意識レベルの低下 ②呼吸困難	2006/01/28 2006/01/28 2006/01/29	夕食後 就寝前 不明	2006/01/29	AM5:00	-	-	-	No	-	-	-	-	無	2006/1/28 近医にてインフルエンザA型の診断を受け、本剤を処方。夕食後と寝る前に1capずつ内服。 2006/1/29 (3:00)本人の記憶あり。(5:00)呼吸苦出現。家人が声をかけたが、振り払い暴れたため当院救急外来へ搬送。意識障害発現(非重篤)。(6:45)当院救急外来受診。来院後、意識が戻りそこから記憶があり。処置を行い経過観察目的で入院。以後は本剤を中止し、経過観察。意識レベルは問題なく、呼吸苦も消失。炎症反応も回復した。 2006/1/30 (午前)意識障害回復。意識レベル問題なし。その後も意識障害発現なし。 2006/2/1 インフルエンザ軽快。 2006/2/3 軽快退院。	異-1-58		
262	B07000263	58	年	男性	意識変容状態 譫妄	2007/3/12 2007/3/12	13:00 19:00	2007/3/13	7:00	×	Yes	-	20時間	No	解熱過程	No	-	-	No	無		
263	B06025002	59	年	男性	異常行動	2007/2/14	不明	2007/2/14	-	-	-	-	No	-	-	-	-	不明	2007/2/14 インフルエンザ治療のため、他院で処方されたタミフル投与開始(75mg×2/日)。異常行動発現。本人に記憶はないが、患者の家族から見ると明らかに異常な行動を示していた。本剤投与中止。 2007/2/19 症状は回復傾向であるが、異常行動未回復。 (2006/2/18)日中、ぼんやりして立ちつくす。反応が鈍い。 夜、不眠、じっとしていられず動き回る。 (2006/2/24)落ち着かない様子あり。 (2006/2/26)「死にたい」、「殺してくれ」と言い、落ち着かない。 (2006/3/1 午前)体調不良を訴える。ボーとしているが、落ち着かない。 (2006/3/1 17:00過ぎ)近所の家の玄関に灯油をまき、自殺するつもりで、マッチで火をつけた。すぐに消火され、ボヤですんだ。 (2007/3/22)現在、転帰は回復されている。	異-1-101		
264	B06025118	64	年	男性	精神状態変化	2006/2/17 2/18~2/19	夕 朝・夕	2006/2/18	日中	-	-	-	No	No	-	-	-	No	自殺企図	(2006/2/26)「死にたい」、「殺してくれ」と言い、落ち着かない。 (2006/3/1 午前)体調不良を訴える。ボーとしているが、落ち着かない。 (2006/3/1 17:00過ぎ)近所の家の玄関に灯油をまき、自殺するつもりで、マッチで火をつけた。すぐに消火され、ボヤですんだ。 (2007/3/22)現在、転帰は回復されている。	異-1-106	
265	B05018850	67	年	女性	劇症肝炎	2005/11/10 2005/11/11 2005/11/12 2005/11/13 2005/11/14	不明、18:00 8:00、18:00 8:00、18:00 8:00、18:00 8:00、18:00	2005/11/16 2005/11/19	夜 -	-	-	-	No	No	解熱過程	No	No	No	うつ病	2005/11/8 インフルエンザワクチン接種。 2005/11/9 発熱(39.8℃)、咽頭痛(+)、息苦しさ(+) 2005/11/10 受診。インフルエンザの疑いで本剤の投与を開始(150mg/日 ~ 11/14)。 2005/11/14 他科受診。X-P正常、熱(-)、便秘(+)、HCV(-)、HBsAg(-) 2005/11/15 急性肝炎(疑)入院。黄疸(+)、血中アンモニア:188、APTT:46.7秒、プロトロンビン時間:21.8秒、HA抗体-IgM(-)。全身倦怠感、黄疸、肝不全発現。入院。 2005/11/16 夜間、時おり意味不明言動あり。 2005/11/17 全身黄染著明、水様便多量。 2005/11/18 全身倦怠感継続。 2005/11/19 ベッドより飛び降りたり、大声で叫んだりする。血漿交換のために一時他院へ転院。 2005/12/28 当院へ帰院。 2006/01/27 退院。	異-1-128	
266	B06001534	71	年	男性	①平衡障害 ②異常行動	2006/4/1	①15:00 ②20:00	2006/4/1	①17:00 ②22:00	×	-	2時間	少なくとも8 時間以内	-	解熱過程	No	No	No	No	無	①(17:00) 覚醒後、自動車を運転。 同乗の妻より車がまっすぐ走らない、方向感覚がおかしい、電柱に車をぶつける、車庫に車をうまく駐車できない、自宅に戻るも不安定で座位がとれないとのこと。 (20:00)本剤75mgを服用。 (22:00)覚醒。平衡機能障害回復(持続時間:5時間)。 ②2006/04/01 (22:00)覚醒。突然、田植えをしている動作あり。家人が話しかけると「田植えをしている」と。また、ほうきをはいている動作をするなどの異常行動が見られた。 2006/04/02 (22:00)異常行動回復(持続時間:24時間)。	異-1-83
267	B06017551	71	年	女性	譫妄	①2006/3/2 3/3~3/6 ②2006/3/7	①21:30 朝・夕 ②夕方	①2006/3/6	①23:00	-	No	約1時間	30分~1時 間	Yes	-	-	-	-	無	2006/2/26 気管支喘息のため入院。 2006/3/2 プレドニゾン30mg開始。(15:00)点滴終了。ジスロマック処方される。食欲低下続く。夕食摂取できず。 (18:00頃)38.5℃の発熱。背部痛もあり。クーリング施行。(21:00)KT:38.5 ナバ0.5g頓服服用。喘鳴、呼吸苦もあり、酸素経鼻で1L開始。SpO2:91%。(21:30)インフルエンザA型にてタミフル75mg×2回/日処方。75mg服用。(~/3/7朝)アミノフィリン16mL(400mg)で開始。 2006/3/3 プレドニゾン20mgへ。食欲低下続く。1割ほど摂取。下肢の痛み、関節痛、背部痛は軽減。(8:00)KT:37.2 (20:00)KT:37.2 2006/3/6 食事摂取は1~3割。酸素は少しが。発熱なし。(8:00)36.7。 (20:00)37.2。(23:00)失禁。部屋からでてこようとしているが、点滴がドアにはさまっている。ナースが付き添いトイレへ。暫くして見に行くと「間に合わなくて」とズボン洗っている。夜間せん妄(非重篤)発現。 2006/3/7 (6:00)昨日は昏迷になり夢遊病者みたいにおしっこを漏らしてしまい着替えようと思ったら、シャツをズボンにして履いていた。床にうずくまって泣いていた。今はしっかりしている。食欲低下はまだあるため3~5割ほど摂取。プレドニゾン10mgへ。以後症状なし。夜間せん妄回復。(10:00)KT:36.3。 (20:00)KT:36.3。2006/3/8 インフルエンザ回復。退院される。	異-1-89	
268	B05000692	72	年	男性	①痙攣 ②意識レベルの低下	2005/2/25 ~2/28	1日2回	2005/2/28	22:40	○	-	-	-	-	-	-	-	無	2005/2/25 インフルエンザB型と診断。タミフル150mg/日、PA錠 3錠/日、カロナール600mg/日投与開始。 2005/2/28 (22:40)突然大きなびきと共に暴れた。(23:00)救急車で来院。意識障害を認め、ホリゾン1V、CT、血液検査施行。CT:正常。タミフルおよび併用薬投与中止。 2005/3/1 (1:00)病棟へ入院。(4:00)痙攣、全身間代性発作発現。(4:07)発作消失。 高CK血症、GOT、LDH上昇あり。補液(ブイーンF1000mL(~/3/6)、アミノフリード500mL(~/3/3))施行。 2005/3/2 (8:15)意識レベル清明。 2005/3/9 痙攣、意識障害回復。退院。	異-1-26		